

平成25年度 第2四半期連結決算概要

1.平成25年度 第2四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収増益：増収は4期連続、増益（当期純利益ベース）は2期連続。
売上高・当期純利益は歴代1位(これまでの過去最高はともに24年)。

ガス販売量	Δ325百万m ³	:気温影響による家庭用需要減 :発電用ガスをトーリング契約へ変更したことによる(Δ464)工業用需要減
売上高	+698億円	:家庭用需要落ちこみも、原料費調整により都市ガス売上は363億円増 :LNG販売等のその他エネルギー売上高80億円増
営業費用	+663億円	:ガス原材料費が円安影響等により360億円増(当期4,093←前期3,733) :LNG販売等のその他エネルギーに関わる費用が増
営業外損益	Δ55億円	:為替差損益Δ42億円(当期Δ41←前期1) :専用設備料収入Δ22億円(当期5←前期27)
特別損益等	+2億円	: (当期) 減損損失Δ20億円 : (前期) 関係会社株式売却益29億円、投資有価証券評価損他Δ51億円
配当金		:中間配当金は、1株当たり5.0円といたします(年間予定10円)

<25年9月末現在連結会社数:連結子会社69社、持分法適用関連会社6社>

(単位:億円)

	25年度2Q	24年度2Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	6,673	6,998	Δ 325	Δ 4.6
(参考)トーリング込ガス販売量(※)	7,416	7,270	146	2.0
売上高	9,335	8,637	698	8.1
営業費用	8,649	7,986	663	8.3
営業利益	685	650	35	5.3
経常利益	649	670	Δ 21	Δ 3.1
当期純利益	427	399	28	7.0

(※)トーリング契約：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)(※)
25年度2Q	98.86	107.66	22.3
24年度2Q	79.41	113.97	21.6

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものの。

(2)ガス販売量

		25年度2Q	24年度2Q	増減	%		
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,025	10,900	125	1.1	
	家庭用	百万m ³	1,250	1,336	Δ 86	Δ 6.4	
		業務用	百万m ³	1,377	1,383	Δ 6	Δ 0.5
		工業用	百万m ³	3,123	3,359	Δ 236	Δ 7.0
	計	百万m ³	4,500	4,743	Δ 243	Δ 5.1	
	他事業者向け供給	百万m ³	923	919	4	0.4	
合計	百万m ³	6,673	6,998	Δ 325	Δ 4.6		

家庭用 :上期分の気温が前期と比較して高く推移した影響による暖房・給湯需要減
業務用 :ほぼ前期並みの販売量
工業用 :幹線開通に伴う新規需要の開発及び発電用需要の増があるものの、トーリング影響(Δ464)による減
他事業者向け供給 :ほぼ前期並みの販売量

(3)セグメント別売上高・セグメント利益(対前期)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	25年度2Q	24年度2Q	増減	%	25年度2Q	24年度2Q	増減	%
都市ガス	6,646	6,283	363	5.8	659	646	13	2.0
器具及びガス工事	933	933	0	Δ 0.1	29	14	15	108.1
その他エネルギー	1,658	1,578	80	5.1	133	118	15	12.8
(電力)	666	617	49	8.1	99	81	18	21.6
不動産	145	150	Δ 5	Δ 3.4	31	33	Δ 2	Δ 6.0
その他	836	880	Δ 44	Δ 5.0	40	47	Δ 7	Δ 13.9
(海外)	87	41	46	108.6	16	18	Δ 2	Δ 8.0
調整額	Δ 885	Δ 1,190	305	-	Δ 209	Δ 208	Δ 1	-
連結	9,335	8,637	698	8.1	685	650	35	5.3

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

	25年度2Q	24年度2Q	増減		25年度2Q	24年度2Q	増減
設備投資	1,219	755	464	D/Eレシオ	0.76	0.69	0.07
営業キャッシュ・フロー	1,093	1,071	22	ROA	2.1	2.2	Δ 0.1
有利子負債	7,187	6,425	762	ROE	4.6	4.7	Δ 0.1

(注)有利子負債、D/Eレシオは25年3月末との比較

2.平成25年度 通期見通し <対前回(7.31)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回減収増益(対前期は増収増益(当期純利益ベース))

ガス販売量	:気温影響による家庭用需要の減少、及び発電用需要を含めた工業用需要の減少により、0.7%減少の見通し
売上高	:電力事業の増収がある一方、ガス販売量減及び料金改定の影響等による都市ガス事業の減収により、160億円減少の見通し
営業費用	:主に都市ガス原材料費の減少により、140億円減少の見通し
営業利益	:電力事業等が改善するも、都市ガス事業の減益により、20億円減少の見通し
当期利益	:法人税額の見通し差により、前回見通しに対し20億円増の1,030億円となる見通し :前提となる経済フレームは変更なし(10月以降為替レート100円/\$、原油価格110\$/bbl)

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	24年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,483	14,590	Δ 107	Δ 0.7	15,390	Δ 907	Δ 5.9
(参考)トーリング込ガス販売量	15,991	16,083	Δ 92	Δ 0.6	15,986	5	0.0
売上高	20,800	20,960	Δ 160	Δ 0.8	19,156	1,644	8.6
営業費用	19,210	19,350	Δ 140	Δ 0.7	17,700	1,510	8.5
営業利益	1,590	1,610	Δ 20	Δ 1.2	1,456	134	9.2
経常利益	1,530	1,550	Δ 20	Δ 1.3	1,474	56	3.8
当期純利益	1,030	1,010	20	2.0	1,016	14	1.3

(単位:億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
25年度	99.43	108.83	17.0
24年度	82.91	113.88	16.6

為替・原油変動影響感度(下期)	売上高	原料	粗利
円・ドルレートが¥1/\$円安	26	43	Δ 17
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	5	18	Δ 13